



▲記者もヤミツキになる面白さを堪能



▶大アジの一荷。いい日は頻繁にあるという



▲当日の釣り場は第二海堡周りの水深45メートル前後



▲アベレージは35～40センチ級



●体高がありよく太ったアジが釣れる



▶こんなアジがバリバリ釣れる



●当日はアカタン、アオイソメともによく釣れた



▲いい日はトップで50尾前後釣れている



▶脂が乗って食味も最高



●1キログ級のマダイも交じった



●大型は必ずタモを使って取り込もう



▲仕掛けはハリス2号、全長2メートルの2～3本バリ。コマセカゴはオモリ130号のアンドンビシ、コマセはイワシミンチ



▼エサはアカタンが配られる。アオイソメは有料

●おいしいアジを求めてはやぶさ丸に通う釣り人も多い

▼アフターフィッシングは心ゆくまでアジ料理を満喫しよう



東京湾のピシアジ盛況 第二海堡周りで大型連発

東京湾奥小柴出船

撮影●椎名義徳

大アジの釣趣を味わいたいなら東京湾のピシアジがおすすめ。5月中旬に取材した東京湾奥小柴のはやぶさ丸はオモリ130号を使うノーマルスタイルで周年アジ専門で出船。
取材日は第二海堡周りの水深45メートル前後を狙い、35〜40センチ級を主体にトップ49尾、一人30尾前後で早揚がりとなる釣れ具合。
大アジの引きは強く、細ハリスでのヤリトリはスリル満点。釣趣、食味の両面で満足できること間違いなしだ。(詳細は54ページ参照)

▼タナは底上2メートルが基本



●東京湾奥小柴・はやぶさ丸 小山 恭弘船長